

令和5年度 静岡県立袋井特別支援学校第1回 学校運営協議会 議事録

1 日時 令和5年6月23日(金) 9:30~11:30

2 会場 静岡県立袋井特別支援学校 会議室

3 参加者 計 16人

(1) 学校運営協議会員 6人

委員 A、委員 B、委員 C、委員 D、委員 F、委員 G 委員 E は欠席

(2) 学校関係者 10人

校長、副校長、教頭、事務長、小学部主事、中学部主事、高等部主事、教務課長
支援連携課長、コミュニティ・スクール ディレクター

4 内容

(1) 学校運営協議会委員任命状 伝達 (校長)

(2) 自己紹介(学校運営協議会委員)

(3) 学校長挨拶

- ・新年度の様子と今後の学校の教育活動について
- ・学校運営協議会に対する期待

(4) 会長・副会長選出 (副校長)

(5) 会長挨拶(委員 A)

- ・我々も受け入れるところは受け入れていき、外部の人間として盛り上げる支援をしていく。
- ・意見を交換し、学校側もどんな考えか、互い出し合っていく。
- ・子供が学びやすいあこがれのエリア、過ごしやすい町をめざし、みなさんと積み上げていく。

(6) 授業見学

5 協議(司会:会長)

(1) 令和5年度学校経営計画について (学校長説明)

(2) 御意見や御質問(○)とそれに対する回答(⇒)

委員 G

○袋井市とのコンサルタント制度を始めてからの期間と今後について
⇒3年目。組織として継続してく。

委員 G

○台風や大雨に対する学校での訓練の取り組みについて
⇒(教員の研修で土砂災害伝達)訓練を計画している。

委員 F

○前回の大雨のときの COCCO での早めの連絡が良かった。今後も早めの対応をお願いしたい。
○日中連絡の取れる保護者ばかりではないので、日中、途中で連絡が取れるかどうかを他の保護者にも伝えていく。

学校長

○児童生徒を(安全のために)早く帰したいが、(特別支援学校は)一人で留守番も難しいので、すぐに帰宅や休校ができない。学校も、今後引き続き検討が必要。

(3) 学校経営計画の承認

参加者全員から承認をいただいた。

(4) 地域や社会とのつながり合う授業や教育活動の実践について

支援連携課長

・コミュニティ・スクールのイメージ図を用いて本校のコミュニティ・スクールについて説明。

コミュニティ・スクール・ディレクター(以降 CS ディレクター)

・本年度の取り組み報告

(5) 御意見や御質問(○)とそれに対する回答(⇒)

委員A

○支援学校からの積極的な発信と、その後のオファー(実践の様子を伝える)していくことが大切。共生は「一緒に作業すること」ではなく、どちらかが自然と発展していくことが大切。

委員B

○「一緒に活動する」では難しいが、自分がやれるときにやれることが大事。今やっていることでよい。

委員D

○イオンのレジ横に、ピンクシートを入れる箱があり、1番入っている所は袋井特支。つまり、貢献したいと思っている人はいっぱいいる。

委員C

○一人暮らしの方が多く、自分から(活動への参加など)手を挙げる人はいない。背中を押してくれ人がいるといい。

委員F

○学校が欲しいもの、必要なものは発信してほしい。一番何をやって欲しいか、次にやって欲しいことなど地域の方も、声が掛からないともういいのかな?と思うのではないか。

委員C

○私たちも「学校で何が足りないか」を学校から言ってもらわないと分からない。必要なところに必要なものが届くようにするとよい。

委員A

○畑のボランティアの方々は、畑で子どもが抜けない草を取ってくれている。子どもたちの力で抜ける草は抜いて欲しい、日常的に子どもたちにやって欲しいと思っている。

委員C

○畑のボランティアの方々は、子どもたちが成功体験できる草を残してくれている。
⇒畑の管理は教員がし、野菜の育て方をボランティアの方から教えてほしいという思いから始まった。教員も畑の管理で行き届かない所もあるが、畑のボランティアの方々には、やれる

ときに来てもらい、お互いに負担がなく、一緒にやれていることがお互い(畑のボランティアの方々と子どもたち)分かるといい。子どもたちは畑のボランティアの方々に教えてもらってうれしいと感じ、子どもの喜びにつながっている。それを畑のボランティアの方々に伝えていきたい。

委員 G

- 子どもたちは畑のボランティアの方々のことを知っているか。
- ⇒子どもたちは知っている。保護者へは、今後 HP で伝えていく。

委員 F

- 旗振りや畑など、PTA の保護者の中からもボランティアとして始めるのはどうか。(保険の関係もあるが)

副校長

- 今年は畑作業をボランティアの方々に手伝っていただいた。今日いただいた御意見を参考に考えていきたい。

学校長

- (先ほど伝えることができなかった)。袋井特支は規模が大きいため、大雨の当日の判断では、すぐに子どもを帰すことができない。そのため、前日判断するしかないが、前日判断だと、空振りすることもあるかもしれないことが心配である。

6 連絡事項(副校長)

- ・次回の学校運営協議会では、報告と今後の取組についての御意見を伺いたい。
- ・本校の主な取り組みは、資料8、9ページ(令和5年度教育活動計画)を見ておいてほしい。